

秩父市における共同配送の取り組み紹介

2025年2月4日
株式会社ゼンリン
モビリティ事業本部
スマートシティ推進部
部長 吉村 英樹

秩父市での取り組み概要

未来技術を活用した物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」の構築を目指した取り組み

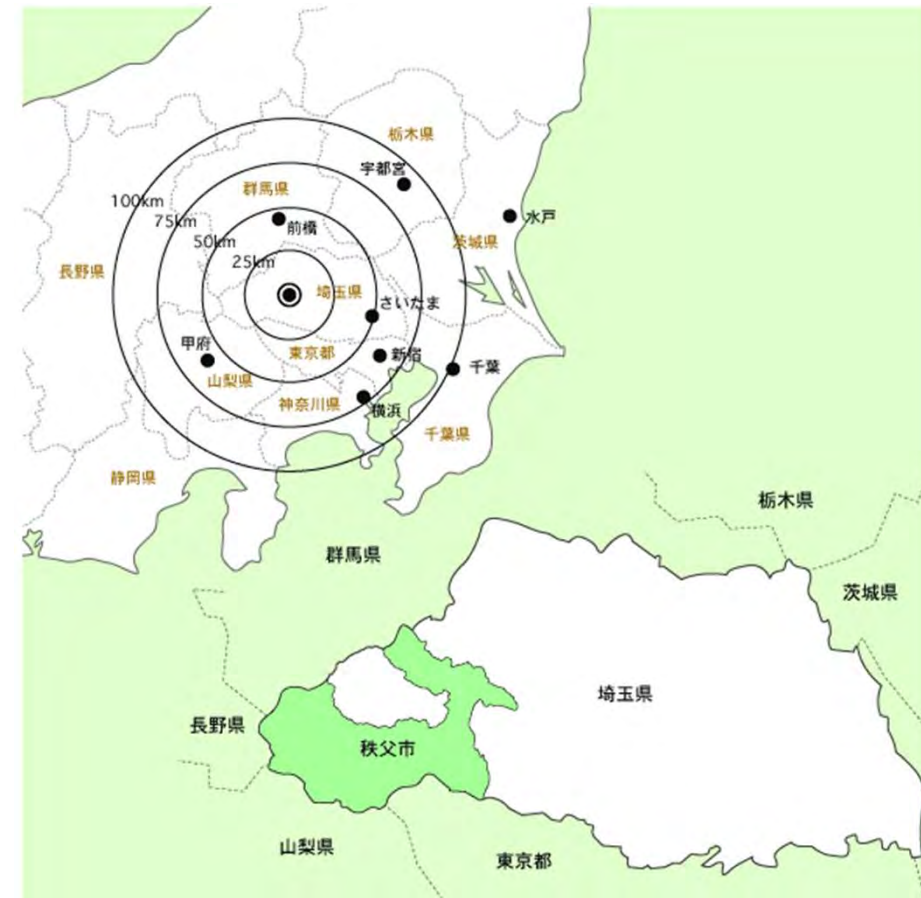
秩父市大滝地域において共同配送、ドローン配送、遠隔医療の3つのサービスを中心とした「秩父モデル」の構築を目指している



秩父市の地域特性

概要

- 都心から60~80km圏内に位置し、周囲を山岳丘陵を眺める盆地を形成している。市域の87%が森林で国立公園に指定されるなど自然環境に恵まれた地域
- 平成17年4月1日、(旧)秩父市・吉田町・荒川村・大滝村が合併し、新『秩父市』として誕生
- 人口
 - 57,757人(令和6年5月1日時点)
- 面積
 - 577.83平方キロメートル
 - 埼玉県の総面積の約15%、県内で1番目の大きさ
 - 県内2位のさいたま市は217.43平方キロメートル



秩父市大滝地域の地域特性

地域
特性

大滝地域（旧大滝村）

- 荒川の谷あい集落が点在し、地域の98%が山林が占めており、地域全域が秩父多摩甲斐国立公園に指定されている
- 地域内に三峯神社という関東屈指のパワースポットがあり、観光客で非常に賑わっている
- 人口：520人（令和6年5月1日時点）



2024年問題

積載数の減少

地理的な課題

秩父市大滝地域も同様の課題に直面している

共同配送のオペレーション

<サービス名称・ロゴ>

結 い ま ち 共 同 配 送 サ ー ビ ス

おむす便



共同配送の様子

①各物流業者が
ヤマト運輸影森営業所へ持ち込み



②地元事業者が
ヤマト運輸影森営業所で荷物受取

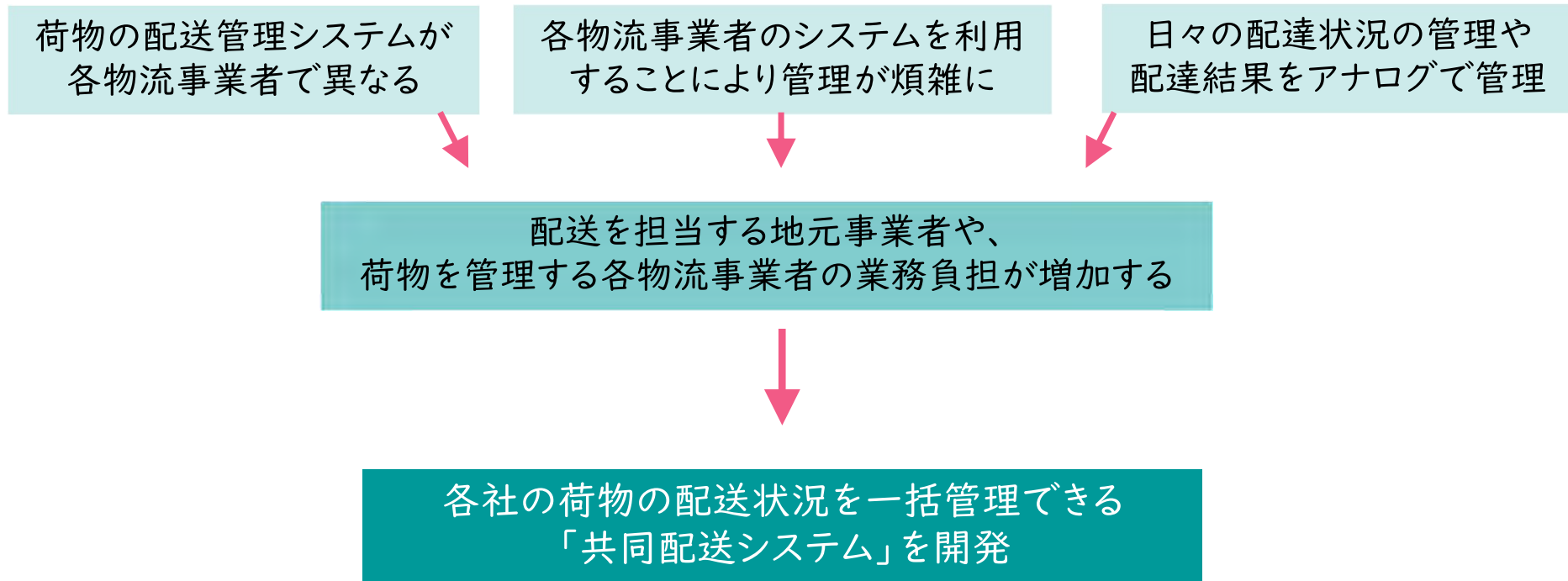


③大滝地域へ配送



共同配送システムの開発経緯

■秩父市で共同配送を行う上での課題



共同配送システム

3つの特徴

01

バラバラだった荷物管理を一つに集約

各物流事業者で荷物の配送管理システムが異なるため、一部アナログや煩雑だった管理を効率化

02

システム内で個人情報を持たないので安心

本システム内で「個人情報」は持たないので、各物流事業者で持つ宛先の情報は連携しない

03

既存システムとの連携は行わない

各物流事業者の「既存システムとの連携」は行わないため、導入ハードルが低くライトに利用開始できる

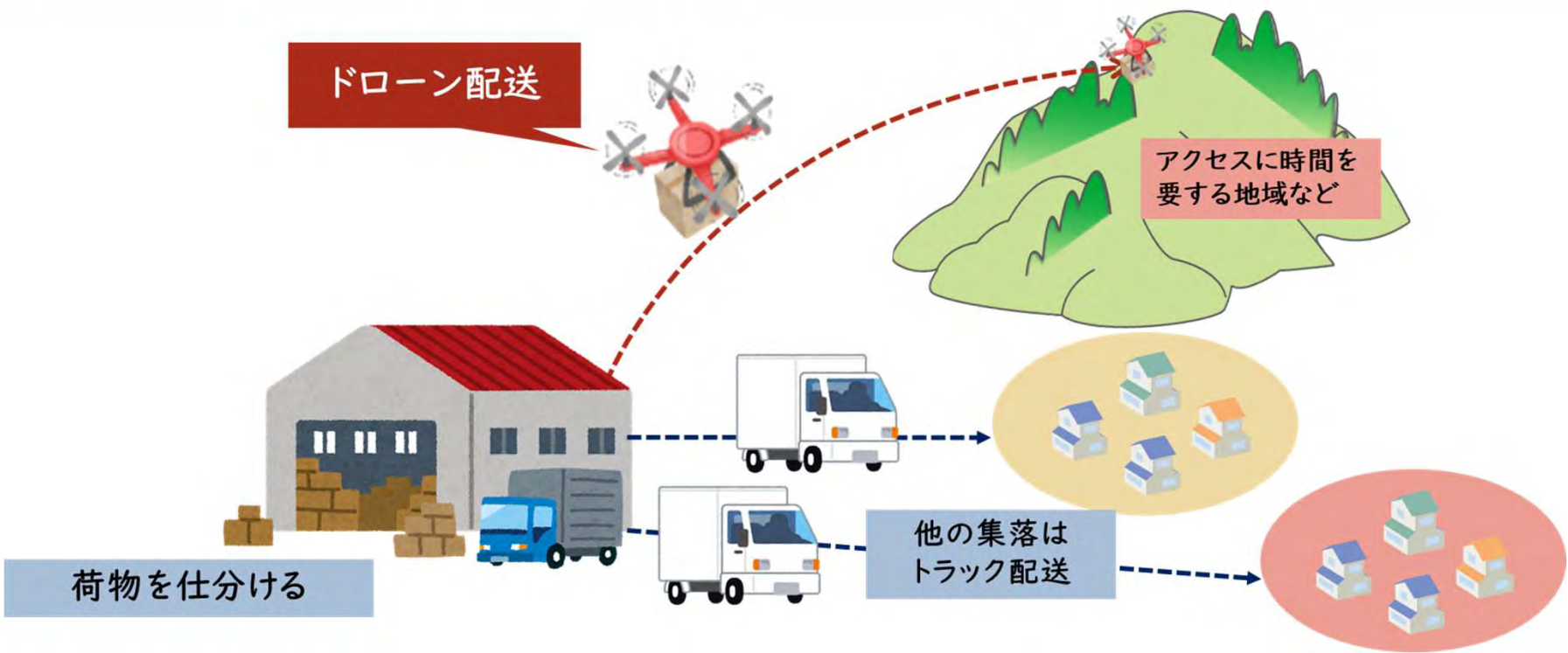
今後目指す物流モデル

共同配送×ドローン配送によりさらなる配送の効率化を図る

- ・大滝地域の中でも、特にアクセスに時間を要する地域
- ・観光名所があること等で、突発的に交通渋滞が発生する地域



一部荷物をドローン配送することで効率化



未来技術を用いた高い配送効率の物流モデルの拡大を目指す

ZENRIN

